



令和6年度 第42回 入学式

学校長式辞

入学生の皆さん、そして保護者の皆様、ご入学おめでとうございます。

先ほど入学が許可され、今、ここに107名の生徒が、これからの三木北高校での高校生活をはじめようとしています。

本校は、「人と環境の三木北」を掲げて、これまでの教育活動に取り組んで参りました。学校としての歴史は残すところ3年となりますが、本校が目指してきた生徒像は、県立高校としては初めて「ユネスコスクール」に認証されるなど、グローバルな視野で、地球環境を大切にし、多様性の社会で個人を尊重する姿勢などを養うものです。皆さんにはそのような社会に向けて、これからの学校生活において、自ら学ぶ姿勢を大切にし、考え、行動を選択することができる力をつけて、本校を巣立つことができるようにして欲しいと思います。

高校生活を始めるにあたって、皆さんにお願いしたいことが3つあります。

1つは、皆さんの中に自分の成長を見ている“もう一人の自分”を意識して欲しいということです。皆さんの世代は、前に進もうとするスピード感は自然と備わっていると思います。しかし、立ち止まって自分自身について振り返ることもとても大切なことです。それは勉強の面だけでなく、例えば、ク

ラスでの友だちとの関わり方やクラブ活動の取り組みにおいても同じです。自分自身を振り返ることから得られる「気づき」が皆さんの成長につながります。皆さんが、例えば4月を終えた段階でも構いませんので、三木北高校に入学して学校生活を通じて、「何ができるようになったか」「これから必要な力は何か」ということを振り返ってみて下さい。

このことは、本日まで出席いただいた保護者の皆様にもお願いしたいことでもあります。高校生になられたお子様に日々、アドバイスを行うことはなかなか難しいかもしれませんが、一つの節目になるタイミングでは、お子様の成長への保護者の方の目線での気づき、「こんなところが成長したね」「もっとこんな力をつけてみては」などと具体的に声掛けをしていただけると大変ありがたく思います。

2つ目は、ものごとを複数の角度から評価する見方・考え方を大切にして欲しいということです。現代の社会は ChatGPT などの AI の活用が急速に進んでおり、膨大な情報量をもとに分析・回答を短時間にこなす力は、最早、私たち人間を超えている状況であると思います。しかし、与えられた情報の範囲で回答するため、その情報が偏っていたり、古いものであれば、それらに基づいて判断してしまうと言われています。私たちは、何か情報が入ってきても、鵜呑みにせず、吟味する力があると思います。「あの人がこう言っているけれどその内容はどうも確かではなさそうだ」とか、「悪意をもって語っているからそのまま受けとめないようにしよう」などの見極めができる

のです。意識して身の回りの出来事や、人について、いろいろな情報をもとにして自分で判断できる見方・考え方を養って下さい。

さて、本校では他校と比べて1クラスの人数を少なくして編成しています。このことによって先生方とは近い距離を感じて学校生活を過ごしてもらえないのではないかと思います。3つ目の願いは、学校生活や、学習や進路、そのほか様々な悩みや疑問が出てきたときに、自分のことばで率直に話せる先生をみつけてほしいということです。

本校の先生方は三木北高校で学ぶ皆さんが社会で活躍できる人に育ってくれるよう、さまざまな指導や支援を行っていきます。皆さんが充実した高校生活を過ごすことができるように、本日お話しした3つのことを頭のどこかに留めておいてもらえたらと思います。

最後に、本日は三木市教育長様などの多数の来賓の皆様のご出席や、各方面からお祝いのことばを頂戴いたしました。誠にありがとうございます。本校の教育活動において、地域やご家庭と連携した三位一体で子どもたちの成長を支えていくことができるよう、今後のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

令和6年4月8日

兵庫県立三木北高等学校 校長 吉田 真治

